

土木学会複合構造委員会 第11回幹事会議事録

1. 日 時：平成18年10月13日（木）14:30～17:00

2. 場 所：Room 205, Kimdaejung Convention Center, Gwangju, Korea（韓国光州市）

3. 出席者：

上田委員長，中島副委員長，大垣幹事長，池田，伊藤，古市，横田，渡辺各幹事
オブザーバー：上平（ドーピー工業），大城（NEXCO 中日本），

Dr. Sung Woo Lee, Dr. Ha-Won Song（以上，KSCE）

Dr. Jenn-Chuan Chern, Dr. Chung-Yih Lin（以上，CICHE）

（敬称略，委員長・幹事等計8名，オブザーバー計6名）

4. 配布資料

資料 幹11-0 第11回複合構造委員会幹事会議事次第

資料 幹11-1 第10回複合構造委員会幹事会議事録（案）

資料 幹11-2 幹事会作業分担（案）

資料 幹11-3-1 現状調査小委員会 活動状況

資料 幹11-3-2 新材料による複合技術研究小委員会 活動状況

資料 幹11-3-3 FRP 複合橋梁小委員会 活動状況

資料 幹11-4-1 「第7回 複合構造の活用に関するシンポジウム」の講演論文募集（会告案）

資料 幹11-4-2 複合構造シンポジウムに関する建築学会からの回答（メール）

資料 幹11-5 JSCE-KSCE Joint Seminar on Progress of Hybrid Structure -Background from JSCE-

資料 幹11-6-1 出版物関連について

資料 幹11-6-2 出版企画書（新材料を用いた複合技術小委員会）

資料 幹11-6-3 新材料を用いた複合構造に関する調査報告書 目次（案）

資料 幹11-6-4 出版企画書（複合構造の現状調査小委員会）

資料 幹11-6-5 「複合構造シリーズ」テンプレート案（ver.1.0）

資料 幹11-6-6 出版物に関する当面の運用

資料 幹11-7-1 次期委員長候補者選出に係る立候補・推薦についてのご案内

資料 幹11-7-2 次期委員長候補者選出方法について

資料 幹11-7-3 複合構造委員会委員長候補者選考細則（案）

資料 幹11-7-4 次期委員長候補者立候補・推薦用紙（メール返送用）

資料 幹11-8 土木学会各賞推薦について

資料 幹11-9 各委員会の継続教育への取組み

資料 幹11-10-1 平成17年度調査研究委員会の活動度評価の結果について（報告）

資料 幹11-10-2 調査研究委員会の活動度評価に関するアンケート

資料 幹11-10-3 2004年度目標／計画（アクションプラン）と実施状況・今後の課題

資料 幹11-10-4 平成19年度事業計画及び予算要求調書

資料 幹11-11-1 第4回土木学会複合構造委員会 議事次第

資料 幹11-11-2 土木学会複合構造委員会 小委員会活動報告

5. 議事次第

(1) 自己紹介

幹事に先立ち、オブザーバーの出席者を含め、自己紹介を行った。

(2) 第10回幹事会議事録（案）の確認（資料 幹 11-1）

- ・ 池田より、第10回幹事会議事録について説明し、p.4（6行目）の「……水準2は幹事会で審議（査読）した上で幹事に報告……」→「……水準2は幹事会で審議（査読）した上で委員会に報告……」に修正（下線部）することで了承された。
- ・ 議事録案の最後の「“鋼・合成構造標準示方書”の“鋼構造標準示方書”への変更の要望を鋼構造委員会に出す」については、上田委員長より鋼・合成構造標準示方書小委員会 依田設計部会長に話をしており、回答待ちの状況であることが報告された。
- ・ 第4回複合構造委員会の話題提供については長井委員に決定したことが報告された。

(3) 幹事会業務分担について（資料 幹 11-2）

- ・ 大垣幹事長より業務分担案について説明があった。前回から変更点はなく、了承された。

(4) 各小委員会の活動状況報告

- ・ 現状調査小委員会の活動状況（資料 幹 11-3-1）
 - －伊藤幹事および上平小委員会幹事長から活動状況について報告があった。
 - －10/3に小委員会が開催されたこと、委員が1名変更になったことが報告された。
 - －アンケートはほぼ回収済みで、今後はデータ分析を行う。
 - －アンケートの結果および複合指針の内容を踏まえて、9A/9Bの改訂作業を今後行う。9A/9Bは複合構造に関する教科書的なものを想定している。なお、9A/9Bの改訂には、現執筆者にも協力を依頼することも検討している。
- ・ 新材料を用いた複合技術小委員会の活動報告（資料 幹 11-3-2）
 - －古市幹事から活動状況が報告された。
 - －報告書については現在執筆中で、平成19年1月末頃に一次原稿完成予定である。
- ・ FRP複合橋梁小委員会の活動報告（資料 幹 11-3-3-1,2）
 - －西崎幹事の代理として大垣幹事長から活動状況について報告があった。
 - －設計法WGと技術検討WGを設置して今後活動していく。

(5) 第7回複合構造の活用に関するシンポジウムについて（資料 幹 11-4-1, 11-4-2）

- ・ 中島副委員長より、建築学会から日程案（第1候補 H19.11.8-9、第2候補 H19.11.1-2）のいずれもOKとの回答があったことが報告された。来年度理事会が11月頃には決定するので、決定次第、日程を確定する。
- ・ 土木学会誌の1月号に論文募集の会告を出す予定。11月中に会告原稿を提出する必要がある。

(6) 日韓ジョイントセミナーについて

- ・ 横田幹事より、はじめにKSCEへの感謝の挨拶と、日韓ジョイントセミナーが37名の出席者があり成功裡に終わったことが報告された。
- ・ 今回の出張で航空料金等の必要な領収書は後日横田幹事まで送る。
- ・ 第4回委員会において横田幹事より日韓ジョイントセミナーについて報告する。

(7) 出版物関係について（資料 幹 11-6-1～6）

- ・ 大垣幹事長より資料 幹 11-6-1に基づいて、平成19年度2つの出版計画書（9A,9Bの改訂、

と新材料を用いた複合構造に関する調査報告書)を提出したこと、「革新的構造材料の土木分野への活用」の理事会承認が得られたこと等について代理説明があった。

－出版物の「ハイブリッドライブラリー」のシリーズ名称について、分かり難いとの意見もあるので「複合構造レポート」にする。出版物は、上位ランクから、「示方書」－「複合構造シリーズ」－「複合構造レポート」の構成となる。(資料 幹 11-6-6)

－「革新的構造材料の・・・」のタイトルの“革新的”について見直す話があったが、内容的に FRP のみでないこと、この方がタイトルとしてアトラクティブであることから現案通りとする。

- ・ 古市幹事より、資料 幹 11-6-2,3 に基づいて、「新材料を用いた複合構造に関する調査報告(仮題)」の出版企画書および目次案について説明があった。
 - －報告書のタイトルや第6章(新材料適用への期待)の内容については次回小委員会で議論する。
 - －目次案に一部商品名が入っているので再検討する。
- ・ 上平調査小委員会幹事長より、資料 幹 11-6-4 に基づいて、9A,9B の改訂版の出版企画書および目次案について説明があった。
- ・ 古市幹事より、資料 幹 11-6-5 に基づいて、複合構造委員会の出版物の共通書式のテンプレート案について、前回からの変更点について説明があった。
 - －テンプレートの修正版を各幹事に再確認する。各小委員会への報告は各幹事から行う。
 - －テンプレートのファイルは HP に掲載し、執筆者が HP からダウンロードできるようにする。

(8) 次期委員長候補者選出に係る立候補・推薦についてのご案内(資料 幹 11-7-1～4)

- ・ 大垣幹事長より資料の説明がなされた。
- ・ 本幹事会後にこれらの資料を修正し、各委員に連絡する。
- ・ 資料 幹 11-7-2「2. 候補者の選出方法(1)選挙方法」⑤ 2006～2007年度…→2005～2006年度…に修正する。
- ・ 委員会で決選・再投票の場合には、代理出席者の投票はなしとする。このことを資料に記述する。
- ・ 委員会欠席者には、「決選・再投票となった場合の選出方法は、委員会出席者(有効投票数)の過半数でもって委員長候補者を決定する」ことに関して事前に承諾を得る。
- ・ 細則には選挙の成立条件に関する記述はしないが、投票率ができるだけ高くなるように、選挙管理小委員会から投票方法・期限などを各委員に事前に連絡し、各委員に必ず投票して頂くようお願いする。

(9) 土木学会各賞推薦について(資料 幹 11-8)

- ・ 大垣幹事長より、資料 幹 11-8 に基づいて説明があった。
- ・ 土木学会論文賞も「対象とする賞」に含まれるが、今年は論文賞の表彰が早まっており他の賞と同時期に行うことは困難である。今のところ細則にないため、もし推薦があった場合には対応方法を検討することとする。
- ・ 推薦選考小委員会は、幹事会メンバーが兼ねる。もし各賞の推薦があった場合には、次回の幹事会前に小委員会を開催する。

(10) 各委員会の継続教育への取組み(資料 幹 11-9)

- ・ 渡辺幹事より、各委員会の継続教育への取り組みや本委員会の今後考えるべきことについて、現在の継続教育 WG の作業の進捗について報告があった。

- ・ 講習会を継続教育としてのみの目的のために開催することは大変であるので、不要。
 - ・ コンクリート委員会では JST（科学技術振興機構）からの委託により、基礎知識をまとめた資料を作成し、WEB 上で公開されている。基礎知識に関する継続教育については、この JST の方法が参考になる。
 - ・ 現状では、各小委員会の最新情報を定期的に公表すること、WEB 上で基礎知識などを掲載するなどを考える。継続教育 WG で、引き続き情報収集を行い、長期的な視点から再度検討する。
- (11) 平成 17 年度調査研究委員会の活動度評価結果および平成 19 年度事業計画について（資料 幹 11-10-1～4）
- ・ 横田幹事より、昨年度活動度評価結果の概要について説明があった（資料 幹 11-10-1）。
 - ・ 複合構造委員会は、評価項目Ⅰ（総出席者数）B、評価項目Ⅱ（総収益）B、評価項目Ⅲ（評価委員の評価）A で、総合評価は A となった。総合評価は、3つの評価項目のうち一番良いランクで評価される。
 - ・ 評価項目Ⅲの A 評価については、1年目の活動としては多岐にわたっているとの意見が多く、これが反映された結果であるとのことである。
 - ・ 評価委員を複合構造委員会からも選出するのがよい。今後検討する。
 - ・ 大垣幹事長より、調査研究委員会の活動度評価に関するアンケート（資料 幹 11-10-2）について説明があった。評価方法に関するアンケート依頼がきており、基本的には「概ね適切である」と回答して、提出する。
 - ・ 大垣幹事長より、資料 幹 11-10-3 に基づいて、平成 18 年度の複合構造委員会の活動に関する自己評価（企画部門担当）について説明があった。自己評価はほぼ全て A 評価とする。ただし、建築学会とのシンポジウム共催は B 評価とし、来年度共催が実現できたら A 評価とする。
 - ・ 大垣幹事長より、資料 幹 11-10-4 に基づいて、平成 19 年度の事業計画および予算要求調書について説明があった。平成 19 年度開催予定の行事（複合構造シンポジウム、新材料を用いた複合構造物に関する講習会、日台ジョイントセミナーなど）については行事計画書を作成する必要がある。
- (12) 第 4 回複合構造委員会について（資料 幹 11-11-1～2）
- ・ 大垣幹事長より、複合構造委員会の議事次第案（資料 幹 11-11-1）について説明があった。上田委員長から「複合構造委員会 2 年間で鑑みて」と題して講演して頂く。議事次第案については了承された。
 - ・ 大垣幹事長より、委員会に提出する小委員会活動報告書（資料 幹 11-11-2）の書式について説明があり、これに基づいて各小委員会の活動報告書を作成することとなった。
- (13) 次回幹事会および委員会他
- ・ 次回幹事会は、12 月 22 日（金）13 時～15 時、土木学会で行う。
 - ・ 幹事会前に、選挙管理小委員会により、次期委員長候補者の最初の投票の開票を行う。また、必要に応じて、各賞の推薦選考小委員会を開催する場合がある。
 - ・ 幹事会后 15 時～ 第 4 回複合構造委員会を開催する。その後、懇親会を開催予定。
- (14) International Collaboration on Hybrid Structures
- ・ 幹事会に引き続き、複合構造に関する日韓台の連携のあり方について議論が行われた。
 - ・ はじめに上田委員長より、日本・韓国・台湾間での複合構造に関する共通の話題、共通のガイドラインの作成、連携の必要性やあり方などについて説明があり、その後議論が行われた。

- ・ 連携は基本的には必要である。コンクリート委員会やコンクリート協会の活動等が参考になる。
- ・ 他委員会との兼ね合いもあるので、一気にではなく、段階的に連携を図っていくのがよい。
- ・ まずは来年の複合構造シンポジウム開催に合わせて、日韓台ジョイントセミナーを実施し、さらに翌日建設現場見学を行ってはどうか。
- ・ ジョイントセミナーは各国からそれぞれ話題提供する形式とする。
- ・ 建設現場については、できるだけ東京から近いのが望ましい。NEXCO 中日本大城さんが社内に持ち帰り検討することとなった。
- ・ 11 月に Bali で開催される ICCMC 会議において次回打合せを行う。

以上（記録・文責 池田 学）